

岩手県感染症週報

平成18年第46週（11月13日～11月19日）

岩手県結核・感染症情報センター

第46週の概要

1類感染症
2類感染症
4類感染症

患者発生の報告はありませんでした。

5類感染症（全数把握対象疾患）

・後天性免疫不全症候群の患者の報告が1例ありました。患者は30歳代の男性です。

3類感染症

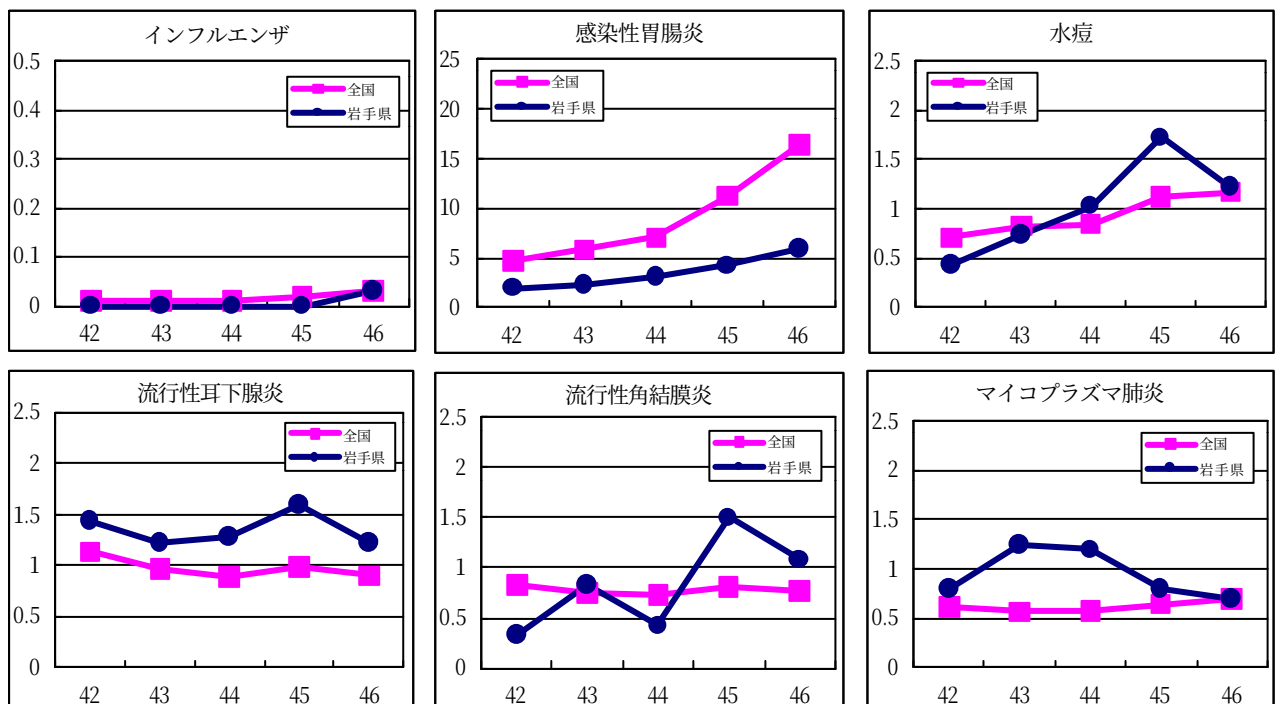
・腸管出血性大腸菌感染症は、二戸地区から5例の報告がありました。

5類感染症（定点把握対象疾患）

- ・インフルエンザは、今シーズン初めて花巻地区より患者報告があり、いよいよシーズンを迎えます。インフルエンザワクチンの効果は、65歳以上の健常な高齢者については、約45%の発病を阻止し、約80%の死亡を阻止する効果があったと報告があり、また小児については、1歳以上6歳未満の幼児では発病を阻止する効果は約20～30%であったとの報告があります。予防接種による効果が現れるまで2週間程度かかることから、12月上旬までに予防接種を済ませることを勧めます。65歳以上の高齢者と60～64歳の基礎疾患（一定の基準を満たすもの）がある方は、定期接種の対象となっているので、市町村に問い合わせのうえ接種を受けることが望めます。
- ・感染性胃腸炎は、前週に続き増加しました。北上及び奥州地区では前週を大きく上回る患者が報告され、一関地区を含め県南部で患者数が多くなっています。保育園や福祉施設等では、集団感染を予防するために、十分な手洗い、患者の汚物の適切な処理と消毒が重要です。
- ・流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）は、奥州地区で患者数の多い状態が続いています。

最近の注目疾患（定点あたり患者数の過去5週の動き）

（疾患によって目盛りのスケールが違うことに注意）



定点把握対象疾患（過去5週の動き）

（定点あたり患者数）

疾病名	地域	週					流行傾向	
		42	43	44	45	46		
インフルエンザ	岩手県	0	0	0	0	0.03	→	
	全国	0.01	0.01	0.01	0.02	0.03		
RSウイルス感染症	岩手県	0	0	0.03	0	0.03	→	
	全国	0.05	0.06	0.07	0.1	0.16		
咽頭結膜熱	岩手県	0.03	0.03	0.03	0.03	0.05	→	
	全国	0.26	0.28	0.3	0.31	0.33		
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	岩手県	0.62	0.85	0.74	0.95	1.1	↗	☆☆
	全国	1.3	1.38	1.46	1.53	1.75		
感染性胃腸炎	岩手県	1.97	2.33	3.08	4.23	5.97	↗	☆
	全国	4.71	5.85	7.08	11.22	16.42		
水痘	岩手県	0.44	0.74	1.03	1.72	1.23	→	☆
	全国	0.71	0.83	0.85	1.12	1.17		
手足口病	岩手県	0.56	0.46	0.51	0.62	0.36	→	☆
	全国	0.82	0.75	0.7	0.64	0.55		
伝染性紅斑	岩手県	0.15	0.31	0.44	0.38	0.44	→	☆
	全国	0.27	0.28	0.3	0.32	0.31		
突発性発疹	岩手県	0.41	0.36	0.28	0.44	0.44	→	☆
	全国	0.66	0.64	0.6	0.61	0.61		
百日咳	岩手県	0	0	0.05	0	0	→	
	全国	0.02	0.01	0.01	0.01	0.01		
風疹	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0	0	0	0	0		
ヘルパンギーナ	岩手県	0.33	0.44	0.13	0.18	0.08	→	☆
	全国	0.12	0.08	0.08	0.06	0.05		
麻疹（成人麻疹を除く）	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0	0	0	0	0		
流行性耳下腺炎	岩手県	1.44	1.23	1.28	1.59	1.23	→	☆☆
	全国	1.14	0.97	0.89	0.99	0.9		
急性出血性結膜炎	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.03	0.01	0.02	0.03	0.02		
流行性角結膜炎	岩手県	0.33	0.83	0.42	1.5	1.08	→	☆
	全国	0.82	0.75	0.73	0.81	0.77		
細菌性髄膜炎	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.03	0.02	0.02	0.02	0.02		
無菌性髄膜炎	岩手県	0.05	0.1	0	0	0	→	☆
	全国	0.04	0.05	0.04	0.03	0.02		
マイコプラズマ肺炎	岩手県	0.8	1.25	1.2	0.8	0.7	→	☆
	全国	0.62	0.57	0.58	0.65	0.69		
クラミジア肺炎（オウム病を除く）	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02		
成人麻疹	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0	0	0	0	0		

【流行傾向の見方】

無印：ほとんど患者が発生していません

☆：患者が発生しています

☆☆：警報値を超えた地区が1～2地区あります

☆☆☆：多くの地区で警報値を超えています

全数把握対象疾患（過去5週の動き）								（患者発生数）	
分類	疾病名	（週） 岩手県						全国	
		42	43	44	45	46	累計	46	累計
一類 感染症	エボラ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	クリミア・コンゴ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	重症急性呼吸器症候群	0	0	0	0	0	0	0	0
	痘そう	0	0	0	0	0	0	0	0
	ペスト	0	0	0	0	0	0	0	0
	マールブルグ病	0	0	0	0	0	0	0	0
	ラッサ熱	0	0	0	0	0	0	0	0
二類 感染症	急性灰白髄炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	コレラ	0	0	0	0	0	0	0	38
	細菌性赤痢	0	0	0	0	0	0	3	321
	ジフテリア	0	0	0	0	0	0	0	0
	腸チフス	0	0	0	0	0	0	0	52
	パラチフス	0	0	0	0	0	0	0	18
三類	腸管出血性大腸菌感染症	1	2	5	1	5	88	49	3527
四類 感染症	E型肝炎	0	0	0	0	0	0	2	36
	ウエストナイル熱（ウエストナイル脳炎を含む）	0	0	0	0	0	0	0	0
	A型肝炎	0	0	0	0	0	0	3	208
	エキノコックス症	0	0	0	0	0	0	0	12
	黄熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	オウム病	0	0	0	0	0	1	1	14
	回帰熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	Q熱	0	0	0	0	0	0	1	2
	狂犬病	0	0	0	0	0	0	0	1
	高病原性鳥インフルエンザ	0	0	0	0	0	0	0	0
	コクシジオイデス症	0	0	0	0	0	0	0	2
	サル痘	0	0	0	0	0	0	0	0
	腎症候性出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	炭疽	0	0	0	0	0	0	0	0
	つつが虫病	0	0	0	0	0	5	24	224
	デング熱	0	0	0	0	0	0	2	44
	ニパウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0
	日本紅斑熱	0	0	0	0	0	0	2	43
	日本脳炎	0	0	0	0	0	0	0	7
	ハンタウイルス肺症候群	0	0	0	0	0	0	0	0
	Bウイルス病	0	0	0	0	0	0	0	0
	ブルセラ症	0	0	0	0	0	0	0	4
	発疹チフス	0	0	0	0	0	0	0	0
	ボツリヌス症	0	0	0	0	0	0	0	2
	マラリア	0	0	0	0	0	1	1	48
	野兔病	0	0	0	0	0	0	0	0
	ライム病	0	0	0	0	0	0	0	10
	リッサウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0
	レジオネラ症	0	0	0	0	0	5	3	360
	レプトスピラ症	0	0	0	0	0	0	0	23
五類 感染症	アメーバ赤痢	0	0	0	0	0	2	11	503
	ウイルス性肝炎（A型肝炎及びE型肝炎を除く）	0	0	0	0	0	0	1	197
	急性脳炎（ウエストナイル脳炎及び日本脳炎を除く）	0	0	0	0	0	1	2	67
	クリプトスポリジウム症	0	0	0	0	0	0	0	12
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	0	0	0	1	1	114
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	0	0	0	0	1	69
	後天性免疫不全症候群	0	0	0	0	1	3	10	865
	ジアルジア症	0	0	0	0	0	0	0	70
	髄膜炎菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	8
	先天性風しん症候群	0	0	0	0	0	0	0	0
	梅毒	0	0	1	0	0	5	6	419
	破傷風	0	0	0	0	0	1	1	98
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	0
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	0	0	0	1	2	51

今注目の感染症

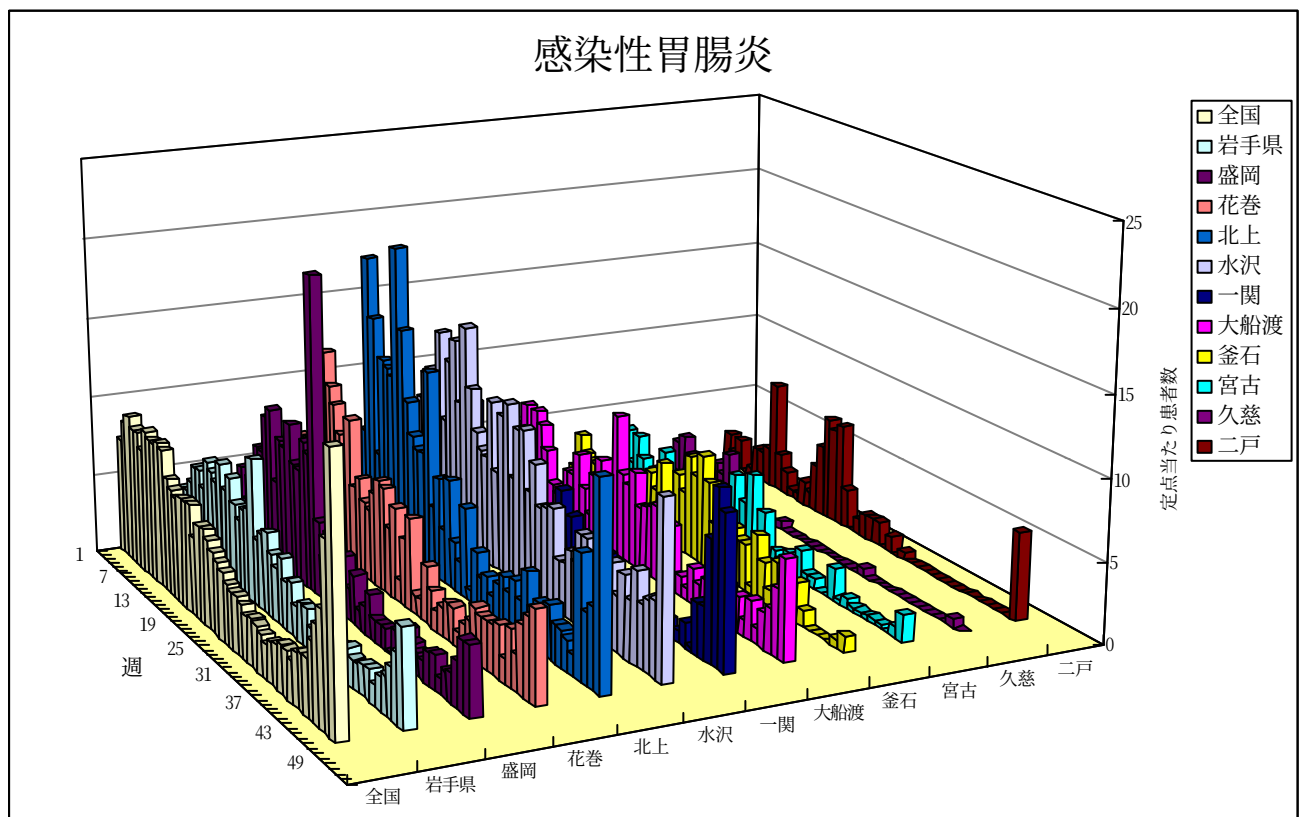
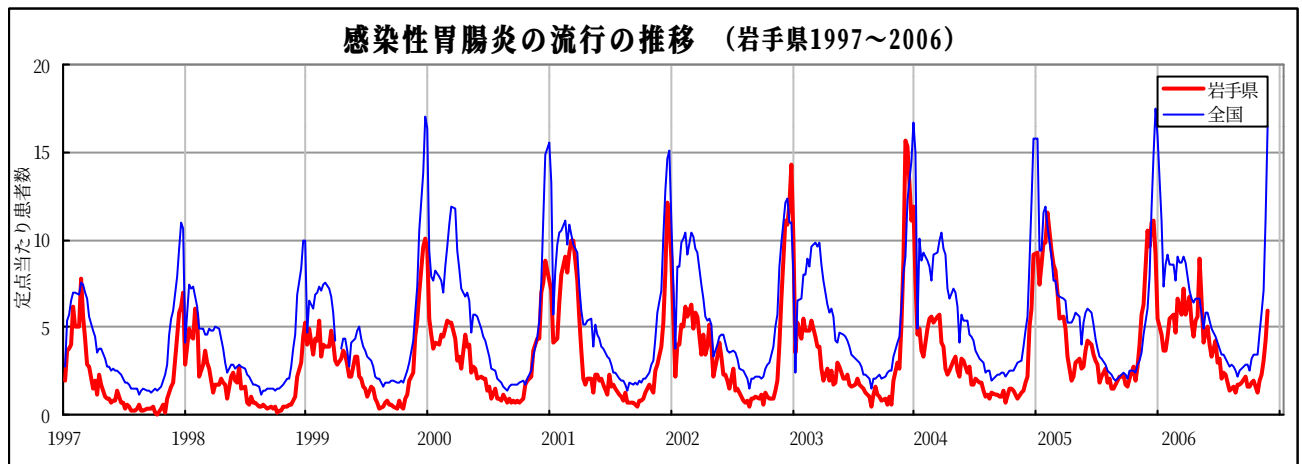
感染性胃腸炎

感染性胃腸炎は、毎年冬季に流行が見られ、今年も患者の増加が始まった。この時期にはノロウイルスによるものが多く、保育園や福祉施設等の集団発生場でしばしば集団感染を引き起こす。

ノロウイルスの感染経路は、（１）ノロウイルスに汚染されたカキ等の二枚貝を生あるいは十分に加熱調理しないで食べた場合、（２）ノロウイルスに感染した食品取扱者により汚染された食品を食べた場合、（３）患者の糞便や嘔吐物等から二次感染をする場合、等がある。

患者の糞便や嘔吐物には、大量のノロウイルスが含まれていることがあるので、汚物処理時の手袋やマスクの着用、汚染場所の消毒、十分な手洗いが重要である。

消毒には塩素系漂白剤に含まれる次亜塩素酸ナトリウムが有効である。



病原体検出情報

- ・不明熱の患者の咽頭拭い液から、アデノウイルス5型を分離検出しました。
- ・免疫不全症の患者の糞便から、A群コクサッキーウイルス9型を分離検出しました。

医療機関からの情報

- ・この週には医療機関からの情報はありません。

集団感染情報

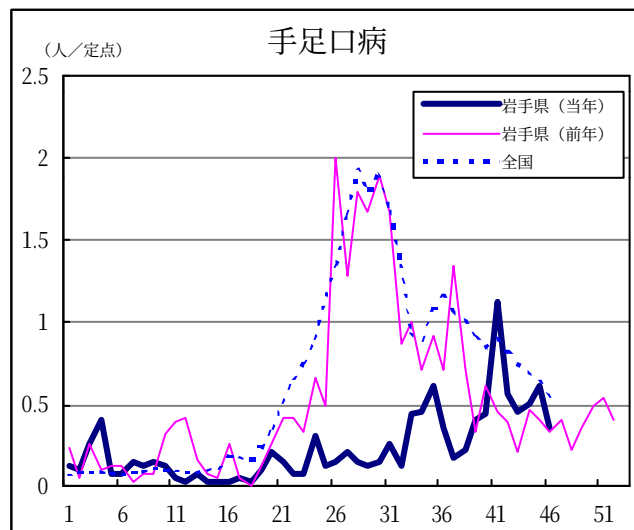
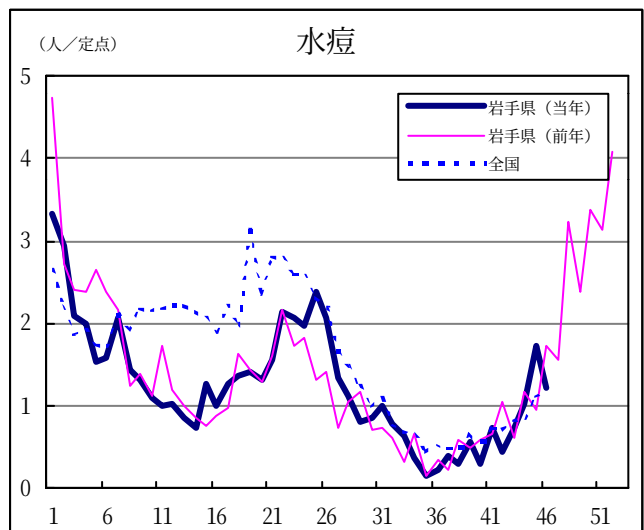
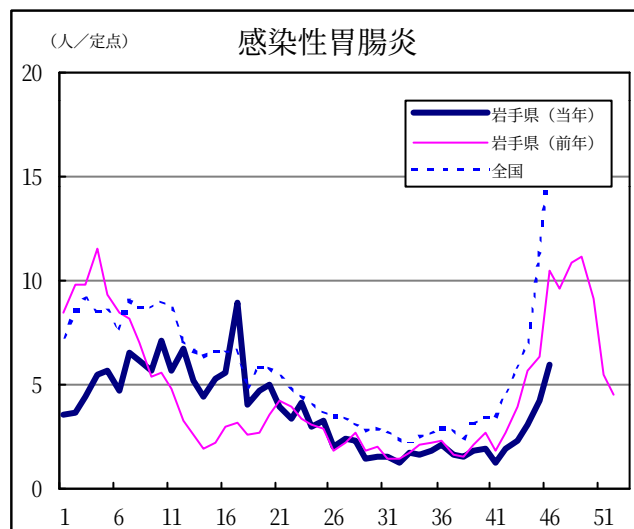
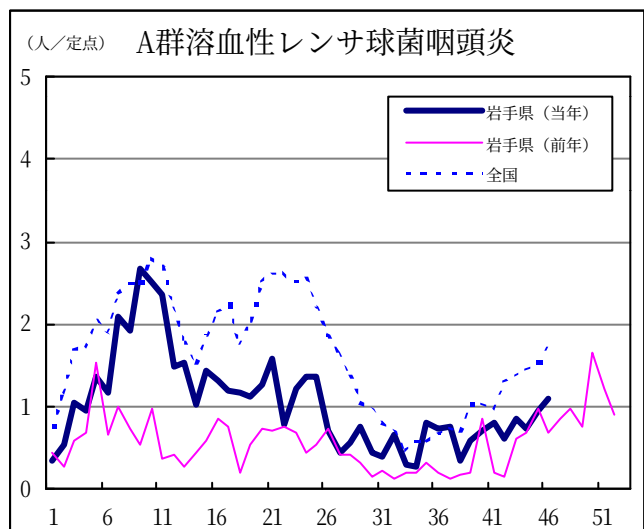
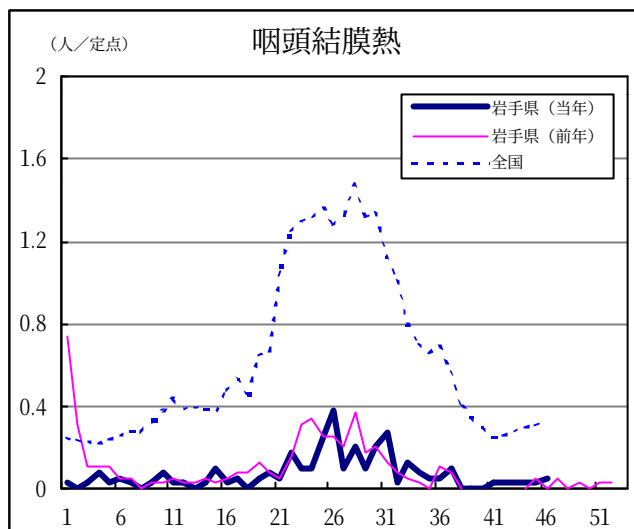
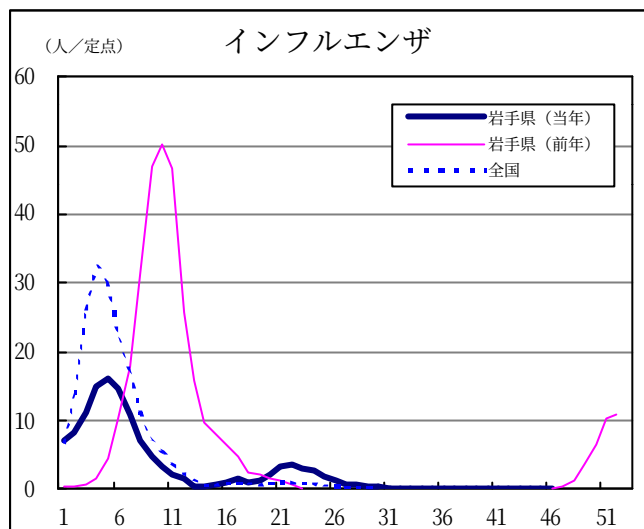
- ・この週には集団感染の情報はありません。

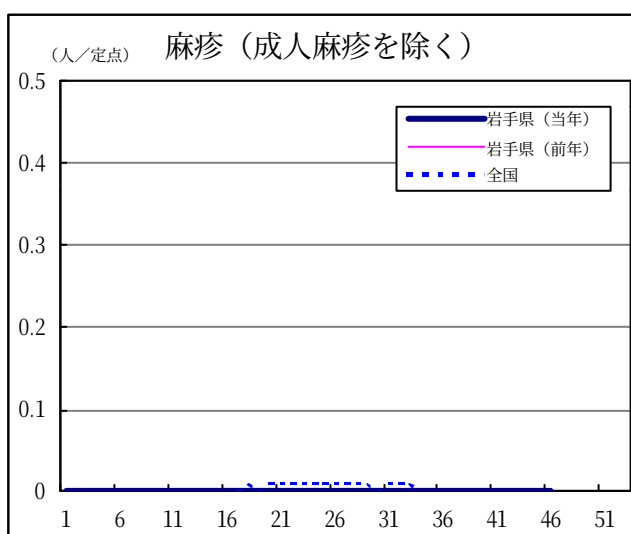
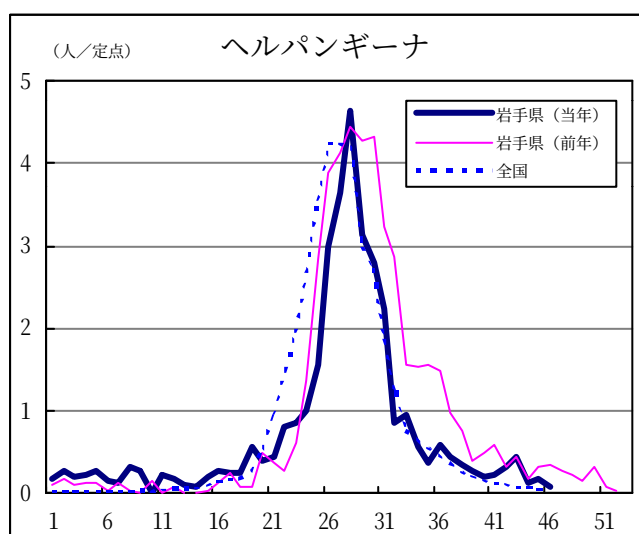
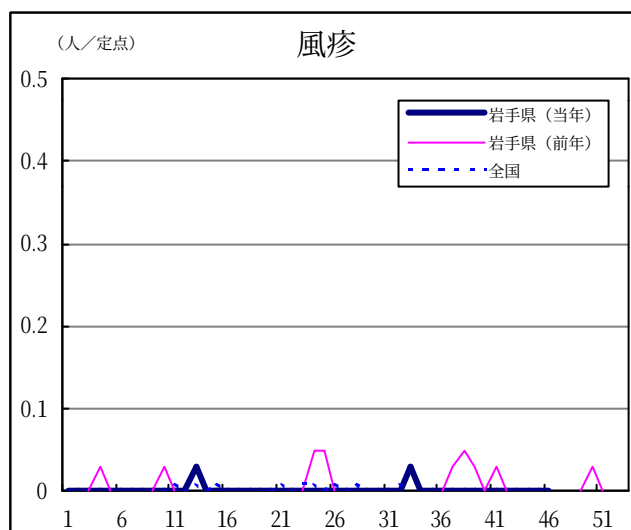
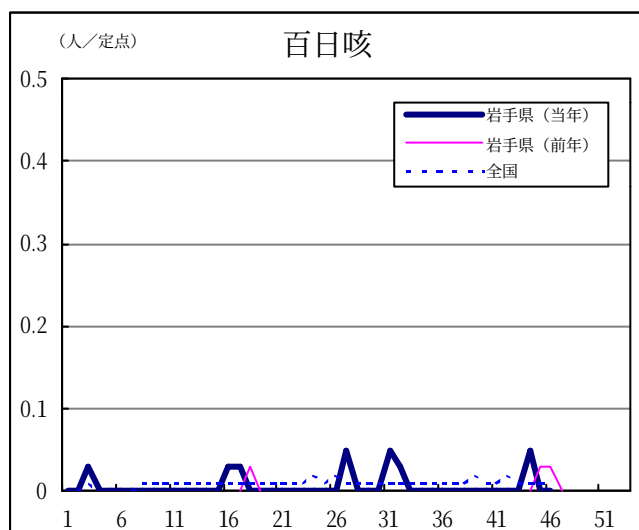
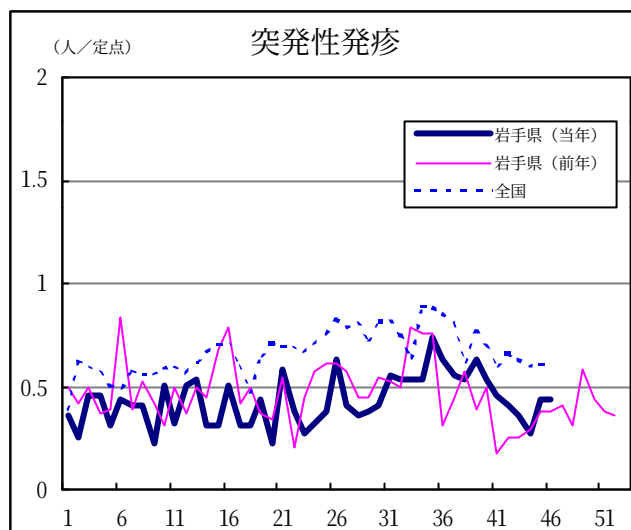
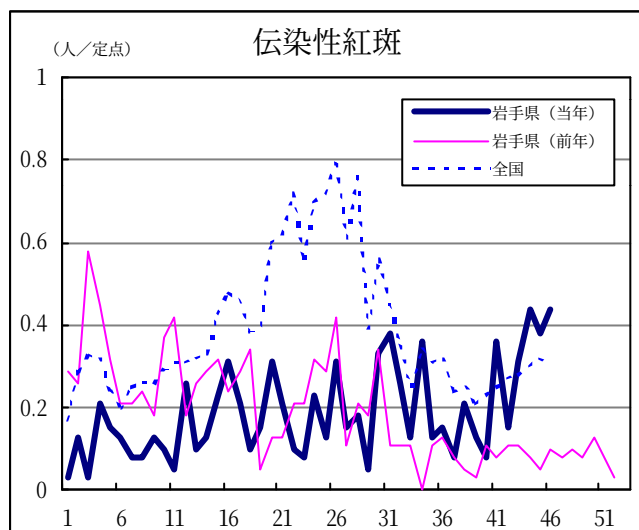
Q & A

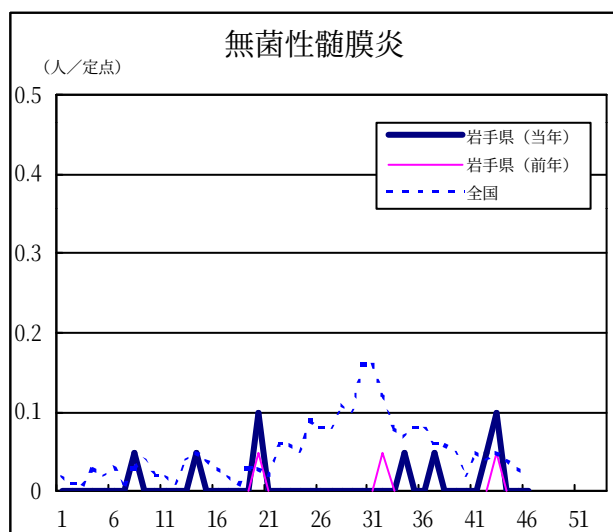
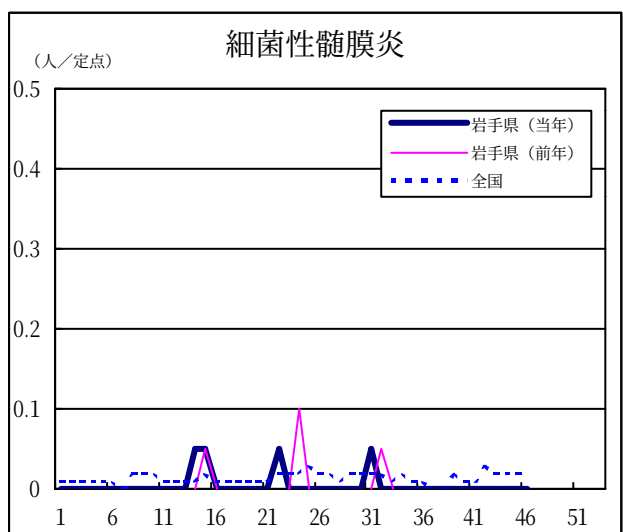
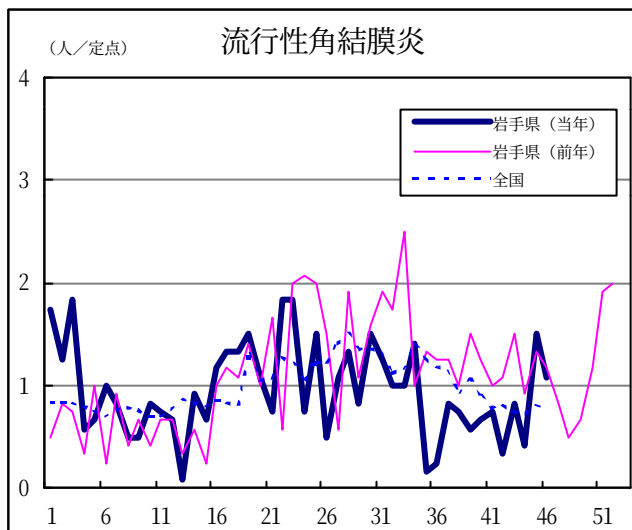
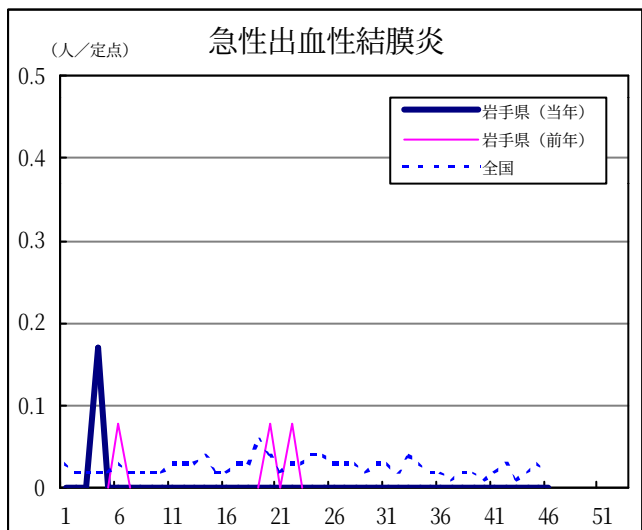
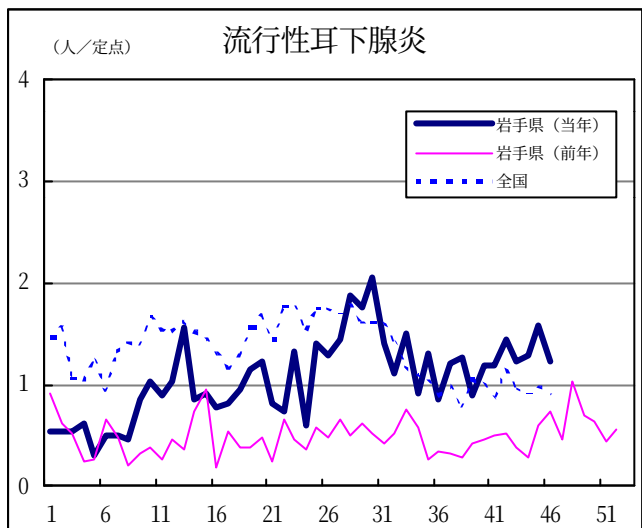
読者の皆様からのご質問にはこの欄でお答えします。

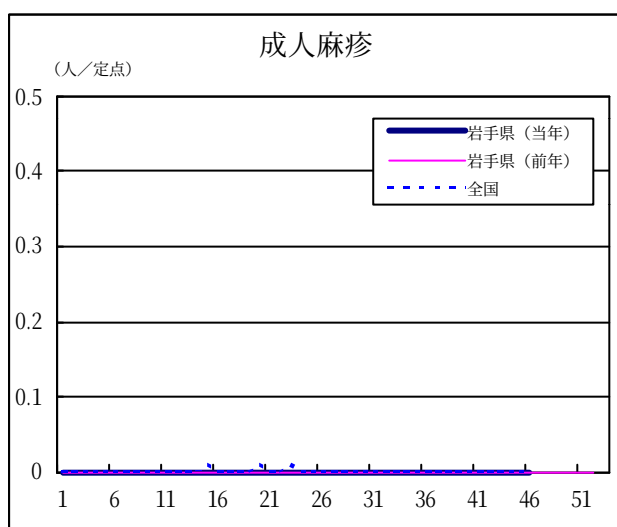
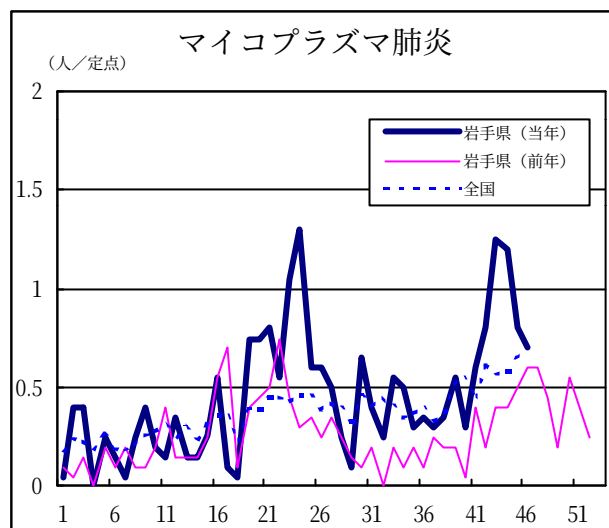
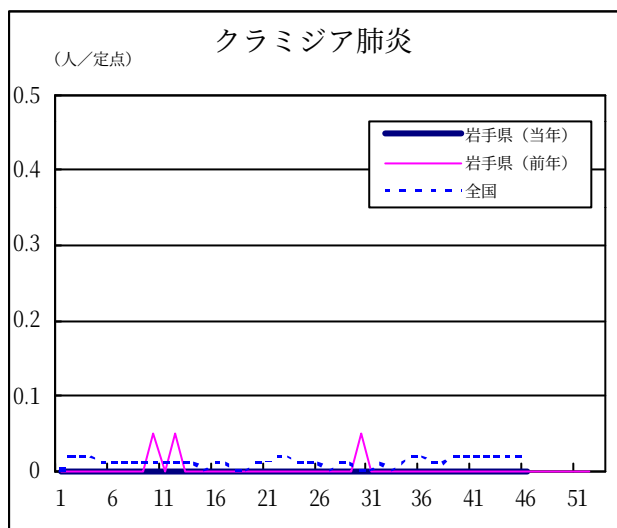
医療機関からの情報や読者の皆様からのご質問は下記の宛先までお寄せください。
岩手県結核・感染症情報センター（岩手県環境保健研究センター保健科学部内）
〒020-0852 岩手県盛岡市飯岡新田1-36-1
TEL:019-656-5669（直通） FAX:019-656-5667
E-mail: CC0019@pref.iwate.jp

疾病別グラフ（定点あたり患者数の推移）









定点医療機関の数

地区	インフル エンザ	小児科定 点	眼科定点	基幹定点
岩手県	63	39	12	20
盛岡	17	11	3	5
花巻	7	4	1	3
北上	5	3	1	2
水沢	7	4	1	2
一関	7	4	1	2
大船渡	6	4	1	1
釜石	3	2	1	1
宮古	5	3	1	1
久慈	3	2	1	1
二戸	3	2	1	2

岩手の感染症情報を毎週メールでお届けする
「岩手県感染症情報ウィークリーマガジン」を配信しています。
 配信の登録は以下のURLからお願いします。
<http://www.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/mailmagazine.html>

岩手県感染症週報 平成18年第46週 平成18年11月24日発行

監修：岩手県結核・感染症発生動向調査委員会

発行：岩手県環境保健研究センター

岩手県保健福祉部保健衛生課

事務局：岩手県結核・感染症情報センター

(岩手県環境保健研究センター保健科学部内)

〒020-0852 岩手県盛岡市飯岡新田1-36-1

TEL:019-656-5669 (直通) FAX:019-656-5667

E-mail: CC0019@pref.iwate.jp

URL: <http://www.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/>

<岩手県結核・感染症情報センター>

<http://www.pref.iwate.jp/~hp0360/>

<岩手県保健福祉部保健衛生課>